

【忘れる以前に覚えていない？】

「もの忘れ外来」も大分世間に広まってきました。精神科で「もの忘れ外来」を受けることに心理的抵抗を持つ人はまだまだ多いでしょうが、精神科以外では脳神経内科や脳神経外科で「もの忘れ外来」は掲げられています。当院でも2024年度実績で新患の30%は認知症ないし器質性(脳に明らかな原因がある)精神障害の患者様でした。詳細は当院ホームページを御参照下さい。

誰にでも「ど忘れ」はありますし、年を重ねていくと「ど忘れ」は増えていきます。「ど忘れ」は病気ではなく健常者にもあり、「健忘」といいます。認知症になると「ど忘れ」が病的に増え、もはや「健忘」とはいえなくなります。もの忘れが病的にひどくなった状態が認知症です。

認知症にも様々なタイプがあり、表現型(どういった症状が見られるか)はそれぞれ異なります。同じ認知症のタイプでも、表現型は全く同じではありません。認知症では様々な症状が見られますが、共通して見られるのが「記憶障害」で、初期に記憶障害が目立たない認知症はあっても、進行した先に記憶障害がない認知症はありません。

記憶障害は「新たに記憶を増やせない」ことをいいます。言ったことは「言っていない」、聞いたことは「聞いていない」、置いた場所は「覚えていない」。そもそも、忘れる以前に覚えていません。大切なこともすぐに忘れられるとイラッとしませんが、このように理解すると少し優しくなれそうですか？